

式 辞

校庭の樹木も新しい芽をふき、春爛漫の今日の佳き日に、PTA会長 永野謙吾(ながのけんご)様、同窓会長 倉掛賢宏(くらかけまさひろ)様、新入生の保護者の皆様方のご臨席を賜り、大分県立大分豊府高等学校第三十六回入学式を、このように挙行できますことは、本校にとりまして、この上ない喜びであり、心から感謝申し上げます。

ただ今、入学を許可しました、二百四十名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大分豊府を代表しまして、皆さんの入学を心から祝福し、歓迎いたします。皆さんは、大分豊府で学ぶことを自ら選択し、新たな高校生活に向けて、希望に胸を膨らませていることと思います。その新鮮な気持ちをいつまでも忘れることなく、充実した学校生活を送っていただけるものと期待しています。

また、これまで、深い深い愛情を注ぎ、お子様を育てこられた保護者の皆様にも、本日のご入学を、心からお祝い申し上げます。

本校は、昭和六十一年に、大分県立大分豊府高等学校として誕生し、平成十九年に、併設型中高一貫教育校の、大分県立大分豊府中学校・高等学校として新たな出発をしております。つまり、今日入学を許可した皆さんは、伝統を受け継ぎながら、新たな学校創りをするという重責を担うこととなります。

校訓は、「感動 理知 友愛」で、「創造的な知性と豊かな人間性、逞しさを備え、高い志を持って、国際社会でリーダーとして活躍できる人材の育成」を教育目標としております。生徒一人ひとりの努力と、教職員と一体となったチームワーク、そして、保護者の皆様のご協力により、今、大分豊府は、着実に前進しております。

皆さんには応援団がたくさんいます。先輩も、入学を心待ちにしています。先日卒業した第三十三期生は、懸命に勉学に励み、過去最高といわれる進学実績を残しました。そして、リーダーとしての資質を備えた生徒ばかりで、生徒会活動・部活動を通じて、立派な人格を形成し、新入生にエールを送ってくれました。また、保護者の皆様には、PTA活動を通じて本校の様々な行事を支援していただいておりますし、後援会である豊流会からは、この度、この立派な校旗を、寄贈していただきました。この場をお借りして、厚く、御礼申し上げます。

現在は、少子高齢化やグローバル化が進行し、地球規模での経済問題、民族問題、環境問題などの課題が山積しています。そして、コロナ感染症の中で、主権者として、どのような社会を形成していくか、問われています。厳しい時代だからこそ、高校時代を通じて、逞しく成長して欲しいと思います。

そこで、まず、皆さんが高校生活を始めるに当たり、校長として確認しておくことがあります。それは、高校は義務教育ではないということです。授業に積極的に参加し、部活動や生徒会活動、ボランティア活動に、より一層取り組み、真剣に学校生活に邁進することが、これまで以上に求められます。高校生としての自覚を持って、責任ある行動をとることにより、大人への階段を上って行きましょう。

高校時代は、「自分さがしの旅」と言われます。今の自分に満足せず、変化を求め、苦しい時は、自分を成長させるチャンスと考え、新しいことに挑戦し、是非とも、やり遂げることで、人生を自らの力で切り拓いていくことのできる、堂々たる人格を形成してもらいたいと、心から念願しています。

皆さんが高校生活を送る上で、私は校長として、勉強・部活動・生徒会活動など、皆さんが積極的に活動する場面を提供します。高校生活の主役は、皆さん一人ひとりです、多くの友人と切磋琢磨し、多くの汗と感動の涙を流し、保護者・地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、今日の入学式の感動を持ち続けて、「大分豊府に入学して良かった」と言えるような、高校生活を送っていただきたいと思います。

私の目の前にいる皆さんは、今、いい緊張感に包まれています。一瞬一瞬を大切にしてください。そして、前へ、前へと、進んでほしいと思います。目標がどんなに遠くても、たとえどんなにゆっくりとした歩みであっても、立ち止まることがなければ、前へ進むものです。

ここで、保護者の皆様をお願いいたします。本日からお子様をお預かりすることになりました。教職員一同、全力で、お子様の教育に邁進する所存でございます。今年度は、重点目標として、「生涯に渡り学び続ける学習意欲の醸成に基づく学力向上」、「コミュニケーション力の育成を基盤とした人間力向上」を掲げております。本校の教育方針に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さんの高校生活が、輝きに満ちた日々となることを祈念しまして、式辞といたします。

令和三年四月九日

大分県立大分豊府中学校・高等学校
校長 野尻 明敬